



⑨ 高等学校 商業科問題の解答について（注意）

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。（マークシート右上の記入方法を参照）消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「商業科」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入 ア. 小問の解答番号は1から74までの通し番号になっており、例えば、25番を

25

 のように表示してある。
イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

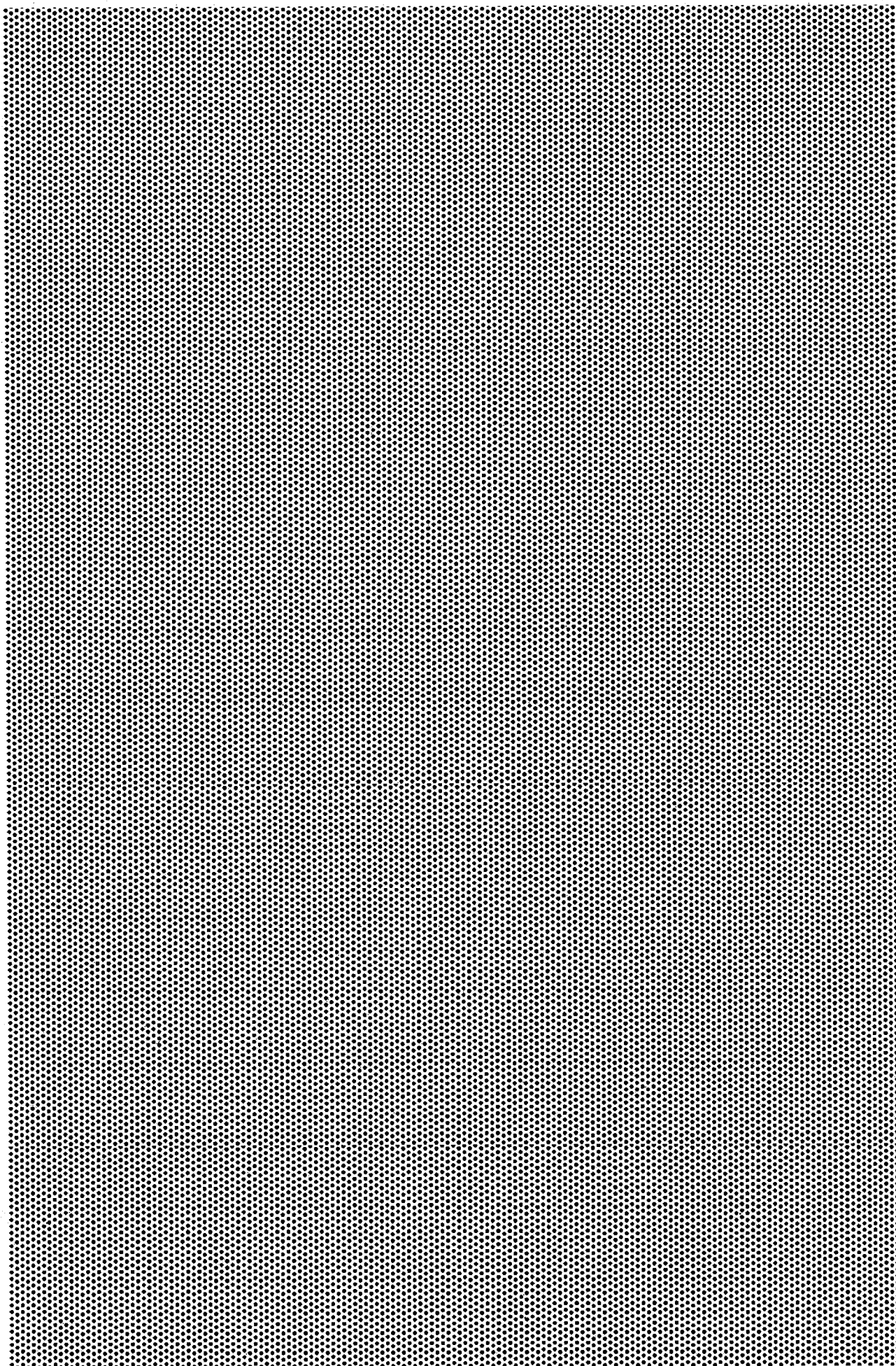
（マークシート記入例）

フリガナ	コウベケロウ	教科名	商業科
名 前	神戸太郎		

数字で記入……

受験番号				
1	2	3	4	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0

小問 番号	解答記入欄 1 - 25	小問 番号	解答記入欄 26 - 50	小問 番号	解答 51
1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	51	0 0 0 0
2	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	52	0 0 0 0
3	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	53	0 0 0 0
4	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	29	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	54	0 0 0 0
5	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	30	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	55	0 0 0 0
6	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	31	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	56	0 0 0 0
7	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	32	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	57	0 0 0 0
8	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	33	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	58	0 0 0 0
9	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	34	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	59	0 0 0 0
10	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	35	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	60	0 0 0 0
11	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	36	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	61	0 0 0 0



【1】 次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「高等学校学習指導要領」(平成30年3月 文部科学省)における「第3章 主として専門学科において開設される各教科 第3節 商業 第2款 各科目 第19 ネットワーク活用」に関する記述の一部である。(ア)～(エ)にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

2 内 容

1に示す資質・能力を身に付けることができるよう、次の〔指導項目〕を指導する。

〔指導項目〕

(1) 情報技術の進歩とビジネス

- ア ビジネスの変化
- イ 個人情報と(ア)の保護
- ウ 関係法規とガイドライン

(2) インターネットと(イ)

- ア インターネットの仕組み
- イ ハードウェアとソフトウェアの導入
- ウ (イ)の確保

(3) (ウ)の制作

- ア 図形と静止画
- イ 動画と音声

(4) インターネットの活用

- ア ウェブページの制作とデザイン
- イ 企業情報の発信
- ウ 電子商取引と(エ)
- エ ビジネスの創造

- | | | | |
|----------------|--------------|-------------|------------|
| ① (ア) 知的財産 | (イ) 情報セキュリティ | (ウ) 情報資産 | (エ) 情報システム |
| ② (ア) 知的財産 | (イ) 情報セキュリティ | (ウ) 情報コンテンツ | (エ) 電子決済 |
| ③ (ア) 情報セキュリティ | (イ) 知的財産 | (ウ) 情報システム | (エ) 電子決済 |
| ④ (ア) 著作権 | (イ) 知的財産 | (ウ) 情報コンテンツ | (エ) 情報資産 |
| ⑤ (ア) 著作権 | (イ) 情報セキュリティ | (ウ) 情報資産 | (エ) 情報システム |

(2)「高等学校学習指導要領」(平成30年3月 文部科学省)及び「高等学校学習指導要領解説 商業編」(平成30年7月 文部科学省)を踏まえ、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 従前の「ビジネス経済応用」については、経営資源を最適に組み合わせ適切にマネジメントを行うために必要な資質・能力を育成する視点から企業経営、ビジネスの創造などに関する指導項目を分離し、「ビジネス・マネジメント」とした。
- ② 従前の「ビジネス情報」については、企業活動においてソフトウェアを活用するために必要な資質・能力を育成する視点から指導項目を改善し、科目の名称を「ソフトウェア活用」に改めた。
- ③ 商業の見方・考え方とは、「企業活動に関する事象を、企業の社会的責任に着目して捉え、ビジネスの適切な展開と関連付けること」を意味している。
- ④ 「ビジネスの実務における課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う」という目標は、「課題研究」の目標の一つである。
- ⑤ 「企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析する力を養う」という目標は、「財務会計Ⅱ」の目標の一つである。

【2】 次の問いに答えよ。

(1) 企業の行う会議や研修旅行、学会が行う国際会議、展示会などのビジネスイベントの総称を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① MICE ② RESAS ③ DMO ④ MECE ⑤ MaaS

3

(2) イノベーションが起きるかどうか、またはイノベーションの起こり方を示す普及理論において、消費者のタイプの (ア)・(イ) にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点から掲載いたしません。

- ① (ア) イノベーター (イ) ラガード
② (ア) イノベーター (イ) レイト・マジョリティー
③ (ア) アーリー・アダプター (イ) レイト・マジョリティー
④ (ア) アーリー・アダプター (イ) ラガード
⑤ (ア) アーリー・マジョリティー (イ) ラガード

4

(3) 株式を次のとおり売却したとき、手取金の総額は¥ 5 6 0,000となった。5、6 にあてはまる数字をマークシートの①～⑥から選び、番号で答えよ。ただし、手数料の円未満は切り捨てるものとする。

銘柄	約定値段	株数	手数料
A	1株につき¥570	297株	約定代金の0.25% + ¥6,600
B	1株につき¥1,050	515株	約定代金の0.78% + ¥8,800

5

6

(4) 席次のマナーとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① タクシーでは、運転手の後ろが下座で、助手席が上座となる。
- ② 一般的には、応接室の出入口から遠い奥の席が上座、出入口に近い席が下座である。
- ③ 先方から席を指定されたときは、勧められた席に関わらず、下座に座る。
- ④ 列車と飛行機では、進行方向に向かい通路側の席が上座である。
- ⑤ エレベーターでは、操作盤の前が下座であり、上座は乗る側から向かって右奥となる。

7

(5) 主な地域経済統合のうち、「アジア太平洋経済協力」を指す語句として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ASEAN ② RCEP ③ AEC ④ APEC ⑤ TPP

8

(6) 6.5%利付社債、額面¥465,000を市場価格¥96で買い入れると、支払代金は¥9100,000となった。ただし、利払日からの経過日数は285日とし、経過利子の円未満は切り捨てるものとする。このとき、9、10にあてはまる数字をマークシートの①～⑩から選び、番号で答えよ。

9 10

(7) 母集団をいくつかの部分母集団に分割し、そのうちの1つを無作為に選びだしたあとに全数調査を行う方法を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 系統的抽出法 ② 層化抽出法 ③ 集落抽出法 ④ 多段抽出法
- ⑤ 単純任意抽出法

11

(8) 金融政策に関する説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 日本銀行は、日本における唯一の中央銀行であり、唯一の発券銀行、銀行の銀行、政府の銀行という性質を持っている。
- ② 公開市場操作とは、日本銀行が市場から金融商品を売買して、市中のマネー・ストックを変化させる手段である。
- ③ 金融緩和は、景気を刺激するために行われ、マネタリー・ベースを減少させることで銀行の貸出量を増大させ、企業の投資資金や運転資金の調達を促すことである。
- ④ 国税、地方税に社会保障負担を加えたものが国民所得に占める割合を国民負担率という。
- ⑤ 日本銀行が新規に発行された国債を引き受けることは、原則として禁止されている。

12

(9) 原価の25%の利益を見込んで予定売価をつけた商品を、予定売価の10%引きで販売したところ、利益額が¥108,750になった。このとき原価は¥13 14 0,000である。13、14にあてはまる数字をマークシートの①～⑩から選び、番号で答えよ。

13

14

(10) ニューツーリズムの説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 観光客の数が地域の受け入れ可能な限度を超えること。
- ② 地域の特色や文化、産業、暮らしを守りつつ、観光に活かす地域の観光振興のこと。
- ③ 地域特有の魅力を活用し、体験型、交流型の要素を取り入れた旅行商品による観光振興のこと。
- ④ 観光資源の魅力を維持しつつ、観光を推進しようとする考え方やその実践のこと。
- ⑤ 1～2時間で移動できる範囲の観光客に向けた、地域の観光振興のこと。

15

(11) 額面¥400,000の約束手形を4月1日に割引率年3.65%で割引くと、手取金は¥16 17 0,000である。ただし、満期は12月6日とする。(両端入れ、割引料の円未満は切り捨て) 16、17にあてはまる数字をマークシートの①～⑩から選び、番号で答えよ。

16

17

(12) 買い手側の視点からみたマーケティングミックスである「4C」に含まれる要素として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① Convenience ② Customer Satisfaction ③ Customer Cost
④ Communication ⑤ Customer Value

18

(13) 旅行業の特徴・業務の説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 新規参入のハードルが高い。
② 仲介業である。
③ ソリューション・ビジネスも展開している。
④ サービスを扱う。
⑤ 労働集約型産業である。

19

(14) 輸出手続きがすべて完了し、本船への船積みが完了したとき売り手に船会社から発行されるものとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① Bill of Lading ② Bill of Exchange ③ Sales Contract ④ Commercial Invoice
⑤ Letter of Credit

20

(15) ビルト・イン・スタビライザーの説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 経済活動の前提となる社会的な基盤の総称のこと。
② 景気の変動にしたがって、税金や社会保障給付の増額や減額が自動的に実施され、景気変動をやわらげる仕組み。
③ 世界中で生産活動を行う多国籍企業が本社や本社機能の一部を置き、合法的に法人税を節税するための場所のこと。
④ 景気を刺激するために公共事業を拡大したり、税制を意図的に変更したりして特別な減税を行ったりすること。
⑤ 金融市場における資金が不足し、利子率が上昇してしまうことで民間企業による投資の資金調達が困難になること。

21

(16) 月の異名とその月で用いられる時候の挨拶の組合せとして適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- | | | | | |
|---|------|----|-------|------|
| ① | 月の異名 | 師走 | 時候の挨拶 | 初冬の候 |
| ② | 月の異名 | 葉月 | 時候の挨拶 | 晩夏の候 |
| ③ | 月の異名 | 皐月 | 時候の挨拶 | 新緑の候 |
| ④ | 月の異名 | 如月 | 時候の挨拶 | 春寒の候 |
| ⑤ | 月の異名 | 霜月 | 時候の挨拶 | 秋冷の候 |

【3】 次の問いに答えよ。

(1) 福沢諭吉の著書のうち、1873年及び1874年にアメリカの簿記教科書を翻訳してわが国に西洋簿記を紹介した書物として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 銀行簿記精法 ② 学問のすすめ ③ 西洋事情 ④ 帳合之法
⑤ 文明論の概略

23

(2) 流動資産を英語表記にした場合にあてはまるもっとも適当なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① Inventories ② Current assets ③ Fixed assets ④ Goodwill
⑤ Expenses

24

(3) A株式会社は商品280,000円を仕入れ、代金のうち100,000円はすでに仕入先に渡していた内金を充当し、残りは掛けとした。なお郵送費1,600円は現金で支払った。このときの仕訳として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	借方		貸方	
①	仕入	280,000	買掛金	280,000
	郵送費	1,600	現金	1,600
②	仕入	280,000	仮払金	100,000
	郵送費	1,600	買掛金	180,000
			現金	1,600
③	仕入	280,000	仮払金	100,000
	立替金	1,600	買掛金	180,000
			現金	1,600
④	仕入	281,600	前払金	100,000
			買掛金	181,600
⑤	仕入	281,600	前払金	100,000
			買掛金	180,000
			現金	1,600

25

- (4) B株式会社は事業拡張のため、株式600株を1株につき7,000円で発行し、全額の引受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、1株の払込金額のうち2,000円は資本金に計上しないことにした。なお、株式発行に要した諸費用250,000円は、小切手を振り出して支払った。このときの仕訳として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	借方		貸方	
①	当座預金	4,200,000	資本金	3,000,000
	創立費	250,000	資本準備金	1,200,000
			当座預金	250,000
②	当座預金	4,200,000	資本金	5,882,000
	創立費	250,000	利益準備金	1,200,000
			当座預金	250,000
③	当座預金	4,200,000	資本金	3,000,000
	株式交付費	250,000	別途積立金	1,200,000
			当座預金	250,000
④	当座預金	4,200,000	資本金	3,000,000
	株式交付費	250,000	資本準備金	1,200,000
			当座預金	250,000
⑤	当座預金	4,200,000	資本金	3,000,000
	通信費	250,000	利益準備金	1,200,000
			当座預金	250,000

- (5) 6月12日に売買目的で社債（額面総額6,000,000円、年利4%、利払日は3月末及び9月末）を額面100円につき97.8円で購入し、代金は買入手数料14,000円及び端数利息とともに小切手を振り出して支払った。4月1日から購入日までの日数（73日）にかかる端数利息は日割りにより計算する。このときの仕訳として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	借方		貸方	
①	社債	5,868,000	当座預金	5,834,000
	支払手数料	14,000	有価証券利息	48,000
②	社債	5,882,000	当座預金	5,930,000
	社債利息	48,000		
③	売買目的有価証券	5,882,000	当座預金	5,930,000
	有価証券利息	48,000		
④	売買目的有価証券	5,868,000	当座預金	5,930,600
	支払手数料	14,000		
	支払利息	48,600		
⑤	その他有価証券	5,882,000	当座預金	5,882,000
	有価証券利息	48,600	その他有価証券評価差額金	48,600

27

- (6) 取引先に対する買掛金400,000円の支払いにあたり、期日前のため同店から1%の割引を受け、割引額を差し引いた金額を、小切手を振り出して支払った。このときの仕訳として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	借方		貸方	
①	買掛金	400,000	仕入割引	4,000
			当座預金	396,000
②	買掛金	404,000	当座預金	400,000
			仕入値引	4,000
③	買掛金	400,000	当座預金	404,000
	仕入割引	4,000		
④	買掛金	400,000	当座預金	404,000
	支払手数料	4,000		
⑤	買掛金	404,000	当座預金	404,000

28

(7) C株式会社(決算年1回)は、第6期初頭に備品を520,000円で買入れ、この代金は、これまで使用してきた備品を234,000円で引き取らせ、新しい備品の代金との差額は現金で支払った。ただし、この古い備品は、第3期初頭に450,000円で買入れ、定率法により毎期の償却率20%として、減価償却費を計算し、間接法で記帳してきた。このときの仕訳として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	借方		貸方	
①	備品	450,000	備品	520,000
	減価償却費	253,760	現金	216,000
	固定資産売却損	32,240		
②	備品	450,000	備品	520,000
	備品減価償却累計額	253,760	現金	216,000
	固定資産売却損	32,240		
③	備品	520,000	備品	450,000
	備品減価償却累計額	219,600	現金	286,000
	減価償却費	46,080	固定資産売却益	49,680
④	備品	520,000	備品	450,000
	備品減価償却累計額	219,600	現金	286,000
			固定資産売却益	3,600
⑤	備品	520,000	備品	450,000
	備品減価償却累計額	265,680	現金	234,000
			固定資産売却益	101,680

(8) 次の【決算整理前総勘定元帳残高】と【決算整理事項】によって、貸借対照表の 30、31、32、33、34、35、36、37 にあてはまる数字をマークシートの①～⑦から選び、番号で答えよ。

【決算整理前総勘定元帳残高】

現金預金	¥351,900	売掛金	¥98,000	繰越商品	¥26,000	売買目的有価証券	¥23,000
備品	340,000	買掛金	64,100	未払金	5,800	貸倒引当金	1,300
備品減価償却累計額	119,000	借入金	180,000	資本金	250,000	繰越利益剰余金	142,000
売上	571,000	受取手数料	2,720	仕入	490,800	支払利息	6,220

【決算整理事項】

a. 期末商品棚卸高は以下の通りである。

帳簿棚卸数量	実地棚卸数量	原価	正味売却価額
138個	135個	@¥200	@¥196

b. 売掛金の期末残高の2%の貸倒引当金を、差額補充法による見積り計上する。

c. 備品について、残存価額0、耐用年数8年、定額法により減価償却を行う。なお、表示方法は間接法による。

貸借対照表

令和〇年3月31日

(単位：円)

資産の部					負債の部				
流動資産					流動負債				
現金預金				()	買掛金				()
売掛金	()				未払金				()
貸倒引当金	()			()	借入金				()
商品		30	31	32 33 0	流動負債合計				()
有価証券				()	負債合計				()
流動資産合計				()					
固定資産					純資産の部				
有形固定資産					資本金				()
備品	()				繰越利益剰余金		34	35	36 37 00
減価償却累計額	()			()	純資産合計				()
固定資産合計				()	負債及び純資産合計				()
資産合計				()					

30	31	32	33	34	35	36	37
----	----	----	----	----	----	----	----

(9) 下記の【資料】に基づくと、受取勘定回転率は 38 39 回、自己資本利益率は 40 41 %になる。

38、39、40、41 にあてはまる数字をマークシートの①～④から選び、番号で答えよ。解答にあたっては、下記の期末時点の数値を用い、自己資本利益率は当期純利益により計算する。なお、指標の数値に小数点以下が生じる場合には、小数点以下を四捨五入すること。

【資料】

貸借対照表

(単位：円)

資産	金額	負債・純資産	金額
現金預金	213,000	支払手形	32,500
受取手形	14,000	買掛金	27,900
売掛金	22,800	前受金	5,400
商品	9,600	借入金	120,000
備品	400,000	資本金	300,000
投資有価証券	34,000	資本準備金	28,000
		利益準備金	20,000
		繰越利益剰余金	159,600
資産合計	693,400	負債及び純資産合計	693,400

損益計算書

(単位：円)

売上高	()
売上原価	476,000
売上総利益	()
販売費一般管理費	23,700
営業利益	94,300
営業外収益	8,600
営業外費用	6,900
経常利益	()
当期純利益	()

38	39	40	41
----	----	----	----

- (10) 標準原価計算を採用しているD株式会社の当月における下記の【資料】に基づき、42、43、44、45にあてはまる数字をマークシートの①～④から選び、番号で答えよ。なお、材料は製造着手のときにすべて投入されるものとする。

【資料】① 原価標準

Z製品	標準原価カード（部分）		正味売却価額
	標準消費数量	標準単価	
直接材料費	6kg	240円	1,440円

② 生産データ

月初仕掛品	200 個	（加工進捗度80%）
当月投入	2,600 個	
投入量合計	2,800 個	
月末仕掛品	250 個	（加工進捗度40%）
完成品	2,550 個	

③ 実際直接材料費

実際消費数量	14,730 kg
実際単価	280 円

材料消費数量差異 42 43 44 45 00（※※）差異

42	43	44	45
--	--	--	--

- (11) 新製品 Y の販売単価は4,000円、変動費率は40%であり、当月の直接原価計算による損益計算書は次のとおりであった。**46**、**47**、**48**、**49** にあてはまる数字をマークシートの①～④から選び、番号で答えよ。

直接原価計算による損益計算書 (単位：円)

売上高	2,936,000
変動売上原価	()
変動売上マージン	2,040,520
変動販売費	()
貢献利益	()
固定費	()
営業利益	379,200

損益分岐点売上高 **46** **47** **48** **49**,000

46	47	48	49
-----------	-----------	-----------	-----------

- (12) 組別総合原価計算を採用しているE株式会社は、組間接費を各組の組直接費を基準として配賦率を求め、A組とB組に配賦した。当月の製造費用は次のとおりであった。このときの仕訳として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	A組直接費	B組直接費	組間接費
材料費	2,458,000円	3,319,000円	512,000円
労務費	3,095,000円	3,687,000円	783,000円
経費	1,167,000円	2,274,000円	1,055,000円

	借方		貸方	
①	材料費	512,000	組間接費	2,350,000
	労務費	783,000		
	経費	1,055,000		
②	製品	16,000,000	A組間接費	6,720,000
			B組間接費	9,280,000
③	A組間接費	6,720,000	仕掛品	16,000,000
	B組間接費	9,280,000		
④	A組仕掛品	6,720,000	組間接費	16,000,000
	B組仕掛品	9,280,000		
⑤	A組仕掛品	987,000	組間接費	2,350,000
	B組仕掛品	1,363,000		

(13) 工程別総合原価計算を採用し製品を連続生産しているF株式会社の下記の【資料】に基づき、第1工程の工程完成品単価は 円、第2工程の月末仕掛品原価の金額は 00円になる。、、、、、、にあてはまる数字をマークシートの①～⑦から選び、番号で答えよ。ただし、F株式会社では第1工程、第2工程ともに平均法によって月末仕掛品の評価を行っている。なお、材料は製造工程の始点ですべて投入され、加工費は作業の進行に応じて製造工程に投入されている。第1工程の完成品は第2工程にすべて投入される。

【資料】生産データ

	第1工程	第2工程
月初仕掛品	800 個 (加工進捗度60%)	400 個 (加工進捗度80%)
当月投入	16,300 個	16,600 個
投入量合計	17,100 個	17,000 個
月末仕掛品	500 個 (加工進捗度30%)	700 個 (加工進捗度50%)
完成品	16,600 個	16,300 個

工程別総合原価計算表

	第1工程			第2工程		
	材料費	加工費	合計	前工程費	加工費	合計
月初仕掛品原価	93,500	87,400		64,400	56,320	
当月製造費用	1,206,100	1,336,350			2,874,080	
合計						
月末仕掛品原価						
工程完成品総合原価						

51	52	53	54	55	56	57
----	----	----	----	----	----	----

【4】 次の問いに答えよ。

- (1) 次の表の仕様である磁気ディスク装置の記憶容量は、58 59 GBである。58 59 にあてはまる数字をマークシートの①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、1GB=10⁹Bとする。

1 シリンダあたりのトラック数	20
1 面あたりのトラック数	1,500
1 トラックあたりのセクタ数	300
1 セクタあたりの記憶容量	2,000B

58 59

- (2) Aさん一人では15日間、Bさん一人では12日間かかる仕事がある。この仕事をAさん、Bさん二人で共同して4日間行い、残りの仕事はAさん一人で行った。この仕事の完成までに要した日数は何日間か。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

① 7日間 ② 8日間 ③ 9日間 ④ 10日間 ⑤ 11日間

60

- (3) 平均故障間隔が187時間、平均修理時間が13時間であるシステムの稼働率として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

① 92.5% ② 93.4% ③ 93.5% ④ 93.7% ⑤ 94.0%

61

- (4) 2進数1101110を、16進数を用いて表したものとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

① 37 ② E6 ③ D6 ④ DC ⑤ 6E

62

- (5) 入力した文章や作成した表を対象に、「すべてを選択」の操作を実行するショートカットキーとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

① Ctrl+A ② Ctrl+C ③ Ctrl+I ④ Ctrl+V ⑤ Ctrl+Z

63

(6) 次の (ア)、(イ) の文章と語句の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

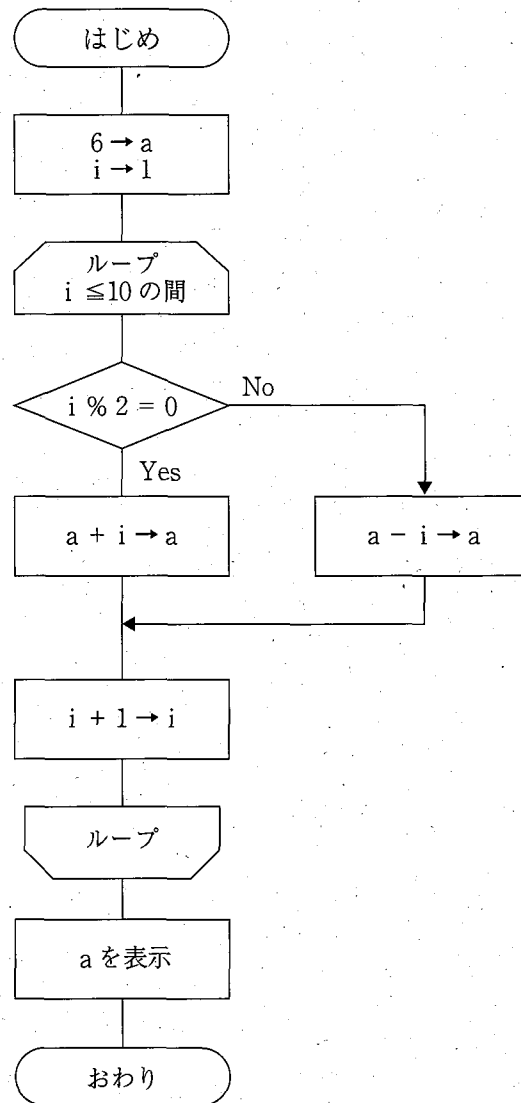
(ア) システムの一部に障害が発生しても、つねにシステムの稼働を正常に維持しようという考え方。

(イ) システムの一部に障害が発生した場合、障害の発生箇所を切り離して性能や機能の処理能力を低下させても、システムを全停止とせず、システムの運転を継続させる考え方。

- | | |
|-------------------|----------------|
| ① (ア) フォールトトレラント | (イ) フェールセーフ |
| ② (ア) フォールトトレラント | (イ) フェールソフト |
| ③ (ア) フェールソフト | (イ) フォールトトレラント |
| ④ (ア) フェールセーフ | (イ) フォールトトレラント |
| ⑤ (ア) フォールトアボイダンス | (イ) フェールソフト |

(7) 次の流れ図にしたがって処理するとき、表示される a の値として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(流れ図)



- ① 1 ② 6 ③ 10 ④ 11 ⑤ 16

- (8) 次のプログラムにしたがって処理するとき、bの値が3のとき、プログラム終了時におけるaとsの値の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

```
Sub Program()  
    Dim a As Integer  
    Dim b As Integer  
    Dim c As Integer  
    Dim s As Integer  
  
    a = 20  
    c = 400  
    s = 0  
  
    b = InputBox("入力してください")  
  
    Do While (a >= b) And (s < 5000)  
        a = a - b  
        s = s + b * c  
    Loop  
  
    MsgBox "a=" & a & " s=" & s  
End Sub
```

- ① a 2 s 4800
- ② a 5 s 6000
- ③ a 6 s 5600
- ④ a 8 s 5200
- ⑤ a 11 s 4000

- (9) 次の決定表に基づき、社員ア、社員イの賞与支給率の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

条件部	勤続5年以上か	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y
	勤務評価がAか	N	N	Y	Y	N	N	Y	Y
	欠勤3日以内か	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y
動作部	支給率：0%	X							
	支給率：5%		X						
	支給率：10%			X		X			
	支給率：15%				X				
	支給率：20%						X		
	支給率：30%							X	X

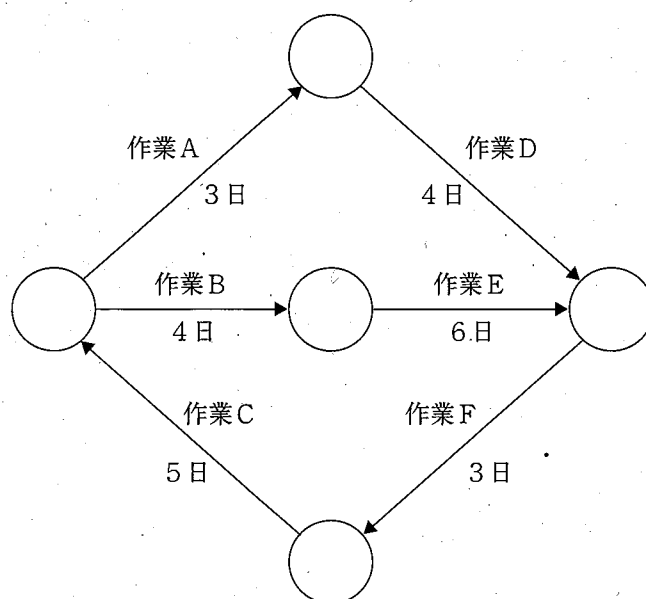
(注) 条件部 Y：条件を満たす N：条件を満たさない

動作部 X：行動

- ・社員ア：勤続4年、評価A、欠勤2日
- ・社員イ：勤続9年、評価B、欠勤5日

- | | |
|-----------|---------|
| ① 社員ア 0% | 社員イ 30% |
| ② 社員ア 5% | 社員イ 20% |
| ③ 社員ア 10% | 社員イ 20% |
| ④ 社員ア 15% | 社員イ 10% |
| ⑤ 社員ア 20% | 社員イ 10% |

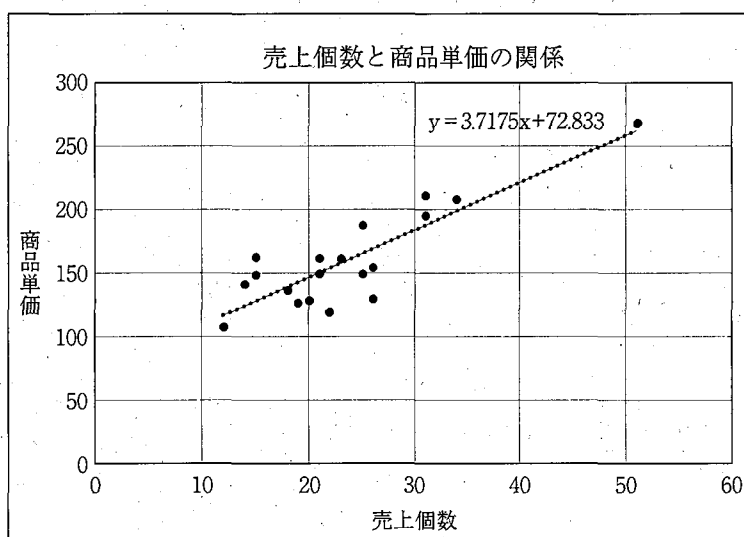
- (10) 次のアローダイアグラムにおいて、作業Aと作業Dがあわせて3日遅れた場合、プロジェクト完了までの日数に及ぼす影響として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- ① 1日遅れる ② 2日遅れる ③ 3日遅れる ④ 4日遅れる
⑤ 遅れは発生しない

- (11) 次の図は、ある商品の売上個数と商品単価のデータである。表示されている回帰直線についての説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1		売上個数	商品単価										
2	T101	22	120										
3	T102	21	162										
4	T103	34	208										
5	T104	14	142										
6	T105	19	127										
7	T106	25	187										
8	T107	20	129										
9	T108	51	268										
10	T109	15	149										
11	T110	31	195										
12	T111	25	150										
13	T112	12	108										
14	T113	21	150										
15	T114	26	130										
16	T115	15	163										
17	T116	18	137										
18	T117	26	155										
19	T118	23	162										
20	T119	31	211										



- ① 回帰直線の傾きが右上がりであれば、売上個数の減少が著しいことを示している。
- ② 回帰直線の長さは売上個数の大きさを示し、短いほど売上個数が小さいことを示している。
- ③ 相関係数がほぼ0に近い値が算出された場合、回帰直線は求めることができない。
- ④ 回帰直線の式は売上個数と商品単価を正確に決定するための関数式であり、誤差を含まない。
- ⑤ 回帰直線の横に示されている式のyに想定している商品単価の値を代入することで、売上個数の予想を算出することができる。

(12) ある会社のネットワークでは、次の条件でコンピュータを接続している。この中で、ブロードキャストアドレスとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

条件

- ・ネットワークアドレス：192.168.20.0
- ・サブネットマスク：255.255.255.0
- ・使用できるホストアドレスの範囲：192.168.20.1 ～ 192.168.20.254

- ① 192.168.20.0 ② 192.168.20.1 ③ 192.168.20.100 ④ 192.168.20.255
⑤ 192.168.21.0

(13) 次の表は、ある会社の部署ごとの発注品をまとめたものである。「部署別発注表」の発注合計金額は、「発注表」の部署コードごとに発注金額を合計したものである。B15に設定する式として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、この式をD15までコピーするものとする。

	A	B	C	D
1	発注表			
2	部署コード	担当者名	商品名	発注金額
3	1001	田中	プリンタ	380,000
4	1002	鈴木	ノートPC	420,000
5	1001	佐藤	モニター	450,000
6	1001	高橋	スキャナー	320,000
7	1002	伊藤	プリンタ	500,000
8	1001	中村	プロジェクタ	520,000
9	1003	山本	シュレッダー	280,000
10				
11	部署別発注表			
12		部署コード	部署コード	部署コード
13		1001	1002	1003
14	部署名	営業	開発	総務
15	発注合計金額	1,670,000	920,000	280,000

- ① =DSUM(\$A\$2:\$D\$9, \$B\$12:\$B\$13)
 ② =DSUM(\$A\$2:\$D\$9, \$B\$12:\$B\$13, 4)
 ③ =DSUM(\$A\$2:\$D\$9, B12:B13)
 ④ =DSUM(B12:B13, 4, \$A\$2:\$D\$9)
 ⑤ =DSUM(A2:D9, 4, B12:B13)

- (14) 次の表は、ある会社の「社員表」と「部署表」である。異動などがあった際に備え、「社員表」の部署名は、「部署表」の部署コードをもとに表示をしたい。D3に設定する式として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、この式をD8までコピーするものとする。

	A	B	C	D	E	F	G
1	社員表				部署表		
2	社員コード	名前	部署コード	部署名		部署名	部署コード
3	E1001	田中	D01	営業部		営業部	D01
4	E1002	鈴木	D02	開発部		開発部	D02
5	E1003	佐藤	D03	総務部		総務部	D03
6	E1004	高橋	D01	営業部		経理部	D04
7	E1005	伊藤	D04	経理部			
8	E1006	中村	D02	開発部			

- ① =INDEX(\$F\$3:\$F\$6, MATCH(C3, \$G\$3:\$G\$6, 0))
 ② =INDEX(\$G\$3:\$G\$6, MATCH(C3, \$F\$3:\$F\$6, 0))
 ③ =INDEX(\$F\$3:\$F\$6, MATCH(\$F\$3:\$F\$6, C3, 0))
 ④ =VLOOKUP(C3, \$F\$3:\$G\$6, 2, FALSE)
 ⑤ =VLOOKUP(C3, \$G\$3:\$F\$6, 2, FALSE)

(15) 次の表は、あるスポーツジムの利用データである。利用料金は以下の条件で計算する。

条件

- ・ 入場から最初の30分間は無料。
- ・ 31分以降は、30分を1単位として、1単位ごとに400円ずつ加算する。
- ・ 30分未満の端数がある場合は、通常会員の場合は端数を切り上げて単位を計算し、特別会員の場合は端数を切り捨てて単位を計算する。
- ・ 税率は10%とする。

このとき、D3に設定する式として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、この式をD7までコピーするものとする。

	A	B	C	D	E	F
1	スポーツジム料金表					
2	会員コード	会員種別	利用時間 (分)	課金単位数	料金 (税抜)	料金 (税込)
3	S1002	通常	25	0	0	0
4	S1056	通常	85	2	800	880
5	S1085	特別	70	1	400	440
6	S1024	通常	150	4	1,600	1,760
7	S1103	特別	155	4	1,600	1,760

- ① =IF(B3="通常",CEILING(C3/30,1),FLOOR(C3/30,1))
 ② =IF(B3="通常",CEILING((C3-30)/30,1),FLOOR((C3-30)/30,1))
 ③ =IF(B3="特別",CEILING((C3-30)/30,1),FLOOR((C3-30)/30,1))
 ④ =IF(B3="通常",CEILING(C3/30,1)-1,FLOOR(C3/30,1)-1)
 ⑤ =IF(B3="通常",CEILING((C3-30)/30,0),FLOOR((C3-30)/30,0))

(16) 次の表は、学生の学籍データを管理するための一覧である。各学生の学籍コードは6文字で構成されており、先頭2文字が「学科コード」、末尾2文字が「入学年度（西暦の下2桁）」を表している。たとえば、「IT2321」であれば「IT＝情報系の学科」「21＝2021年度入学」を意味する。

このとき、学籍コードが正しく6文字で入力されている場合は「有効」、それ以外（空欄または6文字未満など不完全な場合）は「未登録」と表示するようにしたい。

C3に設定する式として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、この式をC8までコピーするものとする。

	A	B	C
1	学籍チェック表		
2	名前	学籍コード	状態
3	田中〇〇	IT2321	有効
4	鈴木〇〇	EC2224	有効
5	佐藤〇〇	BD2125	有効
6	高橋〇〇	AC	未登録
7	伊藤〇〇	(空白)	未登録
8	中村〇〇	BD221	未登録

- ① =IFERROR(IF(LEN(B3)>=6),"有効","未登録"),"未登録")
 ② =IFERROR(IF(AND(B3<>"",LEN(B3)=6),"有効","未登録"),"未登録")
 ③ =IFERROR(IF(LEN(B3)="6","有効","未登録"),"未登録")
 ④ =IFERROR(AND(LEN(B3)=6),"有効","未登録")
 ⑤ =IFERROR(IF(OR(B3="",LEN(B3)<=6),"有効","未登録"),"未登録")

